

## 施肥計算の方法

北海道施肥ガイド 2015 (2017年4月更新版) を参照する。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/clean/sehiguide2015.htm>

### III. 畑作物

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/10/clean/sehiguide2015\\_03.pdf](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/10/clean/sehiguide2015_03.pdf)

生食用ばれいしょに対する施肥量 (単位:kg/10a) (畑作物の章から検索)  
十勝・根釧地域の火山性土の場合

窒素 (N)	6 kg/10a	0.6 kg/100 m <sup>2</sup>
リン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	20 kg/10a	2 kg/100 m <sup>2</sup>
カリ (K <sub>2</sub> O)	12 kg/10a	1.2 kg/100 m <sup>2</sup>
苦土 (MgO)	4 kg/10a	0.4 kg/100 m <sup>2</sup>
1 a (アール) = 100 平方メートル		

ダイコンに対する施肥量 (単位:kg/10a) (園芸作物の章から検索)

窒素 (N)	5 kg/10a	0.5 kg/100 m <sup>2</sup>
リン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	8 kg/10a	0.8 kg/100 m <sup>2</sup>
カリ (K <sub>2</sub> O)	8 kg/10a	0.8 kg/100 m <sup>2</sup>
苦土 (MgO)	3 kg/10a	0.3 kg/100 m <sup>2</sup>
1 a (アール) = 100 平方メートル		

### 各種肥料の成分含有率の例

肥料の成分含有率は 窒素は N、リン酸は P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>、カリウムは K<sub>2</sub>O、マグネシウムは MgO、カルシウムは CaO の含有率として表す。

#### 窒素肥料

硫安	(アンモニウム態窒素)	20.6 ~ 21.0 %
尿素	(総窒素)	40.6 %

#### リン酸肥料

過リン酸石灰 可溶性リン酸 17 ~ 18.5 % うち水溶性リン酸 14 ~ 15.5 %

溶性リン肥 (溶リン) < 溶性リン酸 20 ~ 25 % < 溶性苦土 12 ~ 17 %

苦土重焼リン < 溶性リン酸 19 % + 水溶性リン酸 16 % < 溶性苦土 4.5 %

#### カリ肥料・マグネシウム肥料・カルシウム肥料

硫酸カリ 水溶性 K<sub>2</sub>O 48 ~ 50 %

硫酸マグネシウム 水溶性 MgO 25 %

炭酸カルシウム CaO 56 %、硫酸カルシウム CaO 33 %

#### 配合肥料

バレイシヨ用2号 N 5.28 %, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 25.4 %, K<sub>2</sub>O 10.6 %, MgO 4.86 %

パールユーキ (なたね粕 65%, 魚粕 35%) : N 6%, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 3%, K<sub>2</sub>O 1%

## 課題（6月24日の実習の際に提出すること）

番号

氏名

1. 生食用バレイショを北海道施肥標準に従って栽培する際に  
硫安、苦土重焼リン、硫酸カリと硫酸マグネシウムで施肥する場合の10aあたりの各肥料の施肥量を計算しなさい。苦土重焼リンには4.5%のMgOが含まれるため、その分を硫酸マグネシウムの施肥量から差し引きなさい。施肥標準は前ページに書いてある。

2. ダイコンを北海道施肥標準に従って栽培する際に  
硫安、過リン酸石灰、硫酸カリと硫酸マグネシウムで施肥する場合の10aあたりの各肥料の施肥量を計算しなさい。施肥標準は前ページに書いてある。

ただし、硫安のN含有率は21%、苦土重焼リンの $P_2O_5$ 含有率は35%、過リン酸石灰の $P_2O_5$ 含有率は19%、硫酸カリの $K_2O$ 含有率は50%、硫酸マグネシウムのMgO含有率は25%とする。

計算式も示すこと。

問題1

問題2